



宇佐神宮 菱形池

NUKUMORI  
No.26

2012.1.25発行

# ぬくもり

## CONTENTS

新年を迎えて	2
DMAT訓練参加報告	3
部署だより	3
薬局より	3
ドクターのお話	4
新しい心エコーの紹介	5
レシピひと工夫	6
エコキャップボランティア	6
全国糖尿病週間 栄養相談	6
ご意見いただきました	6
看護職のための研修	7
新入職員紹介	7
外来担当医師一覧表	8

### 基本理念

地域医療への貢献  
「肌のぬくもりある医療」の実践



### 基本方針

- 一、 救急医療充実のため、診療連携の強化に努めます。
- 一、 高度医療の実施、チーム医療の推進に努めます。
- 一、 患者様の立場にたった医療サービスの提供に努めます。
- 一、 職員が働きやすく、誇りを持てる病院を目指します。

宇佐高田医師会病院

肌のぬくもりある医療

〒872-0102 大分県宇佐市大字南宇佐635  
TEL.0978-37-2300(代) FAX.0978-37-2307  
<http://www.utihp.jp/>



私達は笑顔を大切にします

# 新年を迎えて



理事長  
中野 眼一

新年明けましておめでとうございます。

昨年、当医師会病院は創立30周年、検診センターは創立20周年を迎え、宇佐・豊後高田両市長をはじめ、多くの御来賓の御臨席のもとに記念式典を盛会裡に挙行することが出来ました。また、30年の歴史

を綴る記念誌も刊行することができました。

一方、昨年3月11日には東日本大震災という国威を揺るがす大惨事が発生しました。多くの人々が犠牲となられ、多くの医療機関が流失し、原発事故が追い打ちをかけ甚大な被害をもたらしました。しかし、被災地の人々は黙々と復興に立ち向かっています。地域復興の原動力は勿論、地域の力ではありますが、多くの若者がボランティアの精神で被災地を訪れ活発に支援しました。その活動は私共に人間としての大切なものを呼び起こし感動を与えてくれました。1日も早く復興されんことを願ってやみません。

震災以来、医師会病院の地域医療に果たす役割の大きさを感じざるを得ませんが、同時に先を見据えた先達の業績に敬意を表すものであります。当院の役割は地域に最先端の知識と技術を提供するものであります。

それには十分なスタッフが必要です。現在不十分な環境下で懸命に努力していますが、近隣の医療機関と連携を深め、医師会会員の御協力のもとにこの窮地を乗り切らなければなりません。また、県北地域の保健医療の課題は県下で高血圧症と脳血管障害が第1位であることです。この不名誉なレッテルをはがすためにも、検診センターの活動として生活習慣病の早期発見につとめ、保健医療に貢献することが重要であります。

数年後には老朽化した医師会病院の改築が待ち受けています。新年を迎え、職員一同新たな決意を持って、さらなる医療充実のため診療連携の強化に努めてまいります。どうぞ本年も何卒よろしく御支援、御鞭撻を心からお願い申し上げます。



「ホーランエンヤ」柳田看護部長撮影（2012.1.8）



院長  
柏木 孝仁

新年あけましておめでとうございます。

昨年は日本にとって辛く厳しい一年でした。被災した方々には心よりお見舞い申し上げます。しかし、日本人の逆境時の冷静さと忍耐強さや、無能の政府に頼ることなく自らの力で復興していく逞しさを

まのあたりにして、逆に我々が勇気づけられるようでした。

そして、大災害はいつでもどこにでも起こりうるという当たり前の事実を思い知らされました。当院は災害拠点病院の指定を受けており、災害訓練は定期的に行っていましたが、今までは実感のない訓練のための

訓練であったと反省しております。また昨年、地域医療支援病院の認定も受け、地域住民のみならず地域医療施設への後方支援も期待されています。今年からは覚悟も新たに、より実践に則した、より具体的な訓練を予定しています。

昨年は病院創立30周年、検診センター創立20周年の記念の年でした。開設当初より「肌のぬくもりある医療」をスローガンに地域医療に貢献してまいりました。しかし昨今の医療を取り巻く環境の悪化は深刻で、現状維持すら困難の状況が続いています。それでも明けられない夜はないと信じ、次の10年を見据え、新たなスタートを切っていきたいと思えます。

今はやりの言葉ではないのですが、今年も全職員が一丸となって「しら真剣」に医療に向き合うことを誓います。

# DMAT実働訓練及び技能維持研修に参加しました

●11月4日(金)・5日(土)

平成23年度九州・沖縄ブロックDMAT実働訓練(宮崎市)

●11月22日(火)・23日(水)

平成23年度第2回九州・沖縄ブロックDMAT技能維持研修(福岡市)

日本DMAT隊員登録更新のため、以下4名が参加致しました。

柏木孝仁(医師)、小野康佳(看護師)、  
青木美子(看護師)、吉田茂樹(業務調整員)



訓練ではDMAT本部からの指示で当院DMATは災害拠点病院であるN病院への病院支援(写真右)の活動を行いました。活動を行うに当たり、通信用モバイルパソコンの持参が必須になり、EMIS(広域災害救急医療情報システム)の入力だけではなく、MATTSという広域医療搬送患者情報システムの入力も必要になっていることを知りました。技能維持研修は3.11の東日本大震災での活動の反省会や災害時

を想定した演習があり、厚生労働省の方の講義など、活動された方の生の声が聴けて大変参考になりました。

当院の日本DMATメンバーは現在1チーム4名ですが、更にメンバーを増員し、今後の災害時の救援活動が出来るように備えると共に、災害拠点病院として災害に遭われた方の受入れがスムーズに出来るように病院内での訓練を計画しています。  
業務調整員 吉田 茂樹

## 部署だより④

## 事務部

平成23年度から組織の再編成で部課長制となり事務部では総務課、医事課と新たに診療支援室が加わりました。

総務課では主に経理・環境保全・人事・用度に4名、医事課では総合案内や外来・入退院処理・請求業務に7名、診療支援室では医師補助業務として診断書の作成・地域がん登録・NCD登録などに2名の総勢13名のベテランが携わっています。



事務部 医事課長  
田畑 公博

当院では平成21年度にDPC対象病院となり入院費の計算方法が大きく変わり複雑化しました。これに伴い患者様に納得していただけるよう入院時説明に十分時間を取るようにしています。

また、事務室では患者様に満足していただけるように、窓口や電話対応を迅速・丁寧・正確を目標に、サービス向上をめざし努力しています。お気づきの点がございましたら、お声掛け下さいます様お願いいたします。



シリーズ  
薬局より

## 睡眠薬の誤解

睡眠薬は、精神安定剤の仲間です。特に、高ぶった神経を抑え、眠くさせる薬です。

睡眠薬には、入眠を助ける薬や、睡眠の途中で目が覚めるのを抑えるもの等多数の薬があります。

今回は特に、この睡眠薬の誤解についてお話したいと思います。

誤解の中で根強く信じられているものに、睡眠薬を服用し続けると、認知症やアルツハイマーのような脳の器質的な病気になるといった誤解があります。入眠を助けてくれる薬の中には、服用後に物忘れを起こしやすい薬がありますが、あくまでもこれは一時的なもので、翌朝薬の成分が体内から出てしまえば、全く問題はありません。(この副作用を起こさないようにするために、アルコールを控えていただくとともに、睡眠薬服用後は、すぐに寝ていただき、就寝から短時間

で起きて、仕事をされないようにしてください。)

次によく言われるのが、依存性の問題です。今から30年以上前に使われていた睡眠薬(バルビツール系)は依存性が強く、服用を開始から服用量が急速に増えて行く特長がありましたが、現在の睡眠薬(ベンゾジアゼピン系)は依存性は、ほとんどありません。服用していて効果が弱くなったと感じることが、あるかもしれませんが、この場合多くは不眠症が悪化していることが多いようです。

次は少し怖い誤解ですが、睡眠薬の副作用を恐れる余り、アルコールを睡眠薬より安全な“睡眠薬”として利用している誤解です。アルコールは、少量で心をリラックスさせる効果がありますが、量が増えれば、入眠後の睡眠の質を悪くし睡眠3時間程度で目覚めてしまううえ、アルコールには利尿効果があるため、あまり睡眠薬としては適しません。

このように、睡眠薬は濫用こそ慎むべきですが、医師の処方どおり服用する分には、長期的にも安全ですので誤解から薬の使用を避けるようなことのないようにしていただければと思います。  
薬剤課長 國東 秀次

# 新しい循環器系 検査について

近年の高齢化に伴い循環器疾患は増加しており、これらに対する早期発見、早期治療はがんと同様大きな課題であります。

循環器疾患、特にこの中でも致死的な急性の疾患に狭心症や心筋梗塞などの虚血性心疾患があります。従来まで本疾患の診断確定には**冠動脈造影**が施行されてきました。これはカテーテルを冠動脈に直接挿入し造影する方法であり、必ずリスクが伴いますが、緊急を要する不安定狭心症や急性心筋梗塞で心電図、心エコーで診断が明らかであれば、緊急の冠動脈造影が必要です。しかし糖尿病、高血圧や脂質異常症などリスクファクターがある場合や、運動時に胸部症状があり狭心症が疑わしい場合などは、古い（陳旧性）心筋梗塞など虚血性心疾患の鑑別が必要になるため、最近では非侵襲的に直接冠動脈を描出する方法として、冠動脈CTが定着しつつあります。

当院ではこの**冠動脈CT検査**を、平成23年4月より本格稼働しております。冠動脈造影検査のように入院を必要とせず外来にての検査施行が可能です。脈をゆっくりにするお薬の内服と点滴の準備に1時間程度が必要ですが、実際の撮影時間は約15秒（息止めが必要）と非常に短時間に行うことができ、低コスト検査です。冠動脈CTの欠点として、冠動脈



循環器科部長 陣林 伯男

造影の約2倍の放射線被ばくがあること、強い石灰化のある冠動脈の評価は困難であること、また細い冠動脈ステント（2.5mm以下）の中の評価は困難であることが挙げられますが、今後急速に克服されるでしょうから、現時点では冠動脈造影検査に取って代わる検査法と言っても過言ではありません。

また平成23年10月より最新の**心臓超音波検査機器（心エコー）**を導入しました。心エコー検査は超音波を利用するため、患者様に痛みを与えず、被ばくの心配もない非侵襲的な検査法です。更に低コストで繰り返し検査ができる検査法です。弁膜症、心筋症、心筋梗塞等の診断のみならず、局所の心機能評価が簡便かつ客観的に評価できるようになり、重症心不全の治療選択の評価なども可能です。また今回白衣のポケットに入る手の平サイズの**携帯型エコー**も同時に導入しました。これにより救急外来や病室、震災や事故時の狭い空間においても、心臓のみならず腹部疾患などの検査ができるようになり、活用の幅も広がりました。

今回当病院では新たに冠動脈CTと心エコーを導入し、より正確な診断・治療を行っていますので、ここで改めてご紹介させて頂きました。

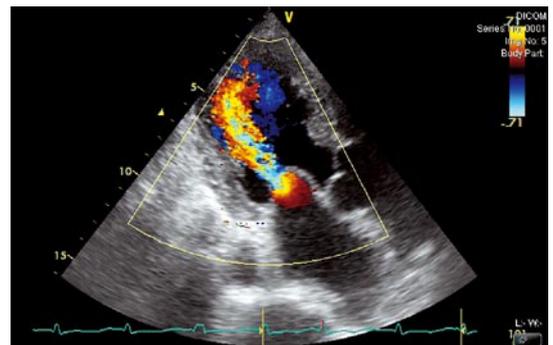
なお検査についてご不明な点がございましたら、診察時やスタッフ等にお気軽にお尋ね下さい。



(冠動脈CT画像)



(心エコー検査)



(心エコー画像)

# 心臓超音波検査機器が 新しくなりました

## 心臓超音波検査とは

心臓超音波検査（心エコー）とは、人の耳には聞こえないほどの高周波数の超音波を心臓に発信して、返ってくるエコー（反射波）を受信し、心臓の様子を画像に映し出して診断する検査です。X線撮影やRI検査のように放射線による被ばくの心配がありませんので、妊婦や乳幼児でも安心して受けることができます。



## ◆心臓超音波検査で何がわかるのか？

この検査を行う目的は二つあり、一つは心臓の形の異常を発見する形態的診断、もう一つは心臓の働きを見る機能的診断です。特に、心臓は常に拍動していますが、その動いている状態をそのまま観察できる、とても有用な検査です。心室や心房の大きさや壁の厚さ、壁の動き、弁の形態や動きなどがわかります。カラー Doppler 法を行うと、心臓の中の血液の流れを映し出すことができ、弁の異常や壁に穴があいているかどうかなどの異常を発見でき、心臓の圧も推定できます。

## ◆検査所要時間

20～30分

## ◆心臓超音波検査を行うケース

- ①胸痛や動悸、息切れなどの症状がある場合
- ②手足にむくみがある場合
- ③心雑音が聞かれる場合
- ④心電図や胸部レントゲン写真に異常がある場合
- ⑤心臓病の診断や経過観察、治療評価
- ⑥手術前の心機能（耐容能）の評価
- ⑦薬物治療による心機能の影響
- ⑧その他



当院では平成23年10月より新しい心臓超音波検査機器（心エコー）を導入しました。この検査機器は心臓超音波のみならず、腹部超音波、表在超音波も検査ができます。また画質の向上はもちろんのこと、大きさも従来の機器の半分以下と非常に小型になり、瞬時の移動も可能になりました。さらに今回新たに、携帯電話のような手軽さで持ち運べる超音波検査機器（腹部・表在も対応）も導入し、外来診療や病棟回診で緊急時の1分1秒を争う急性期患者の検査にも迅速に対応できるようになりました。

診療技術部 臨床検査課 主任 磯村 信一

# ししぴひと工夫

第3回

栄養課  
日清医療食品㈱チーフ栄養士 渡辺 恵

## おでんムース

寒い冬にぴったりなおでんの手作りムース食を紹介します。こんにやくはムースにすることで風味はそのまま、やわらかくて驚くほど本物に近いこんにやくムースができます。

ムース食のおでんです。見た目も味もそっくり！

### 材料 (1人分)

人参	10g
板こんにやく	1/6個
大根	100g
おでんの素	4g
うすくちしょうゆ	0.5g
みりん	2g
酒	2g
塩	0.3g
ゲル化剤	材料の1.5%分

※ゲル化剤は加熱するものや、一緒にミキサーにかけるだけでよいものなど色々な種類があります。今回は加熱するものを使用しました。

普通の  
おでんは  
こちら。



- ①出来上がったおでんの具をそれぞれミキサーにかけて裏ごす。
- ②重量の1.5%のゲル化剤を入れ火にかける。
- ③沸騰したら、型に流し込む。
- ④冷えたら型から取り出し盛り付ける。
- ⑤だし汁にとろみをつけて、上からかければ出来上がり。

## エコキャップ ボランティア

12月20日(火) 当院より宇佐市社会福祉協議会へエコキャップを寄付致しました。当院では平成20年度より行っており、今回は45リットルビニール袋6袋分(89kg)のキャップを親睦会



会長・副会長が持参しました。この運動は、ペットボトルのキャップを回収して再資源化事業者に販売することで得られた売却益の一部を、開発途上国の子どもへのワクチン代として寄付するものです。

## 全国糖尿病週間 栄養相談

全国糖尿病週間の期間中、11月15日(火)・16日(水)に当院1階ロビーにて栄養相談を実施致しました。

社団法人大分県栄養士会より、4名の管理栄養士の方々にもボランティアとしてご参加頂きました。



## ご意見いただきました

ご意見ありがとうございました。  
文責 院長 柏木 孝仁

### ▼ご意見① (薬局の方へ)

定期的に外来受診しているものですが、薬の品切れはどうにかありませんでしょうか？  
1回目は仕方ないと思い取りに来ましたが、2回目は薬が届くまで1時間近く待ちました。  
品切れをなくしてもらいたいです。

### ▼お答え①

大変ご迷惑をおかけしてしまい、申し訳ありませんでした。  
今後は在庫管理を適切に行い、品切れでご迷惑をおかけすることがないように、十分注意してまいります。貴重なご意見ありがとうございました。



### ▼ご意見② (栄養士さんへ)

いろいろご配慮をありがとうございました。  
おかずや果物なども工夫があり、とてもありがたいです。  
病院給食の方々の前向きな気持ちを感じることができました。

食べることによって命はつながります。  
明日へ明日へと食べ物によって命はつづられます。  
治療・回復にも何をどう食べるかによって違いがでけます。

皆さんの高い志に支えられ、私たち患者は安心してここで治療を受けられます。これからも期待しています。ありがとうございました。感謝。

### ▼お答え②

ありがとうございます。これからも患者様にご満足いただけるより良い病院給食の提供に努めてまいります。

\*ご意見は、要約して掲載させて頂いております。ご了承ください。

# 看護職のための研修

大分県ナースセンター（大分県看護協会内）による平成23年度看護力再開発講習会を受講した未就業看護職の方を対象に、**短期間就業体験**を行いました。これは看護職への復職を希望される方が短期間就職を試みることで、不安を少なくし就業できるようにと企画された初めての取り組みです。



## 目的

- 1.職場の雰囲気に慣れる。
- 2.仕事と生活のバランスの調和を確認する。
- 3.就職への不安を軽減する。

**実施日**：平成23年8月2週間のうち、希望する4日間  
8：30～16：00

**実施施設**：宇佐高田医師会病院

**業務内容**：患者のケアと基礎的な看護技術

## 【就業体験した看護師の感想】

私は、子育てのため約5年半のブランクがあり、看護協会の「看護力再開発講習会」を受け、県知事さんより修了証書をいただきました。講習会はとても勉強になり、職場復帰に向けて第一歩を踏み出すきっかけになりました。子育てに費やした5年半、職場から離れていたの、仕事についていけるのかという不安が募り、講習会での実習施設の看護部長さんにその気持ちを打ち明けました。「最初はバイトとして働き、雰囲気に慣れてから働くかどうか決めていいですよ」とやさしく声をかけて頂きました。



最初は、ゆっくりと看護師さんと共に行き、自分で実施することで、以前との違いや現在の方法を確認でき少しずつ自信に繋がっていきました。

慣れない環境下で、スタッフの方々が自分のことを受け入れてくださり、また助言を頂きとても心強く感じました。期間中、時に忙しい中で、ケアを時間内で行わなければならない焦りや余裕のない自分に気づきました。

看護部長さんから「ゆっくりでいいですよ」「雰囲気に慣れればいいですよ」の言葉にとっても励まされました。この体験で不安も解消でき、自分を見つめ直し

ここで就職したいと決心できました。

## 【当院の感想】

「看護力再開発講習会」実施要領を基に本事業を行ってみました。ブランクのある方は皆同じように、看護の勤がよみがえるのか？看護業務の変化、医療の変化についていけるのか？ブランクの距離間と今までの経験が通用するのか？と聞かれます。「一番不安に思っていることは何か」を、少しでも補えればと思い5年5ヵ月のブランクのある方を4日間、本人の希望の時間で短期間就業を計画しました。

患者さまのケアを中心に①患者さまに接する時間を多く取り入れる。②ブランクを感じさせないように、思わないように補佐の看護師を必ず付ける。③質問しやすい環境づくりを目標に計画しました。

学生や新人指導と違い、今までの経験・技術をよみがえらせて、プライドを傷つけないように、尚且つ現在の医療・看護業務の変化への対応を理解して頂きたいと思いました。

私たちが初めての試みで、報酬が発生する短期間就業のため迷いはありましたが、当院就職後も人間関係はもとより、業務環境に早く慣れてもらえた事が大きな成果と思っています。また、双方にとってよい結果だったと感じています。大分県ナースセンターの取り組みに感謝いたします。

## NEW FACE

### 新入職員紹介

よろしくお願いいたします。

①入職日 ②所属 ③モットー（一言）④趣味



ひろの みき  
**廣野 美樹**

- ①H23・7・14
- ②4階病棟看護師
- ③頑張ります
- ④音楽鑑賞



とよだ まゆみ  
**豊田 真弓**

- ①H23・8・16
- ②4階病棟看護師
- ③笑顔で頑張ります
- ④音楽鑑賞



はたなか みなこ  
**畠中美奈子**

- ①H23・11・21
- ②4階病棟看護助手
- ③和顔愛語
- ④絵がみ  
チョークアート



わたなべ みちよ  
**渡邊美智代**

- ①H23・11・21
- ②3階病棟看護助手
- ③初心忘るべからず
- ④カラオケ



まつなが ちさ  
**松永 知沙**

- ①H23・12・7
- ②4階病棟看護師
- ③常に患者様を一番に考えて動くこと
- ④旅行

# 外来担当医師一覧表

時間帯	科別	月	火	水	木	金	土
午前	循環器	陣林 伯男	篠原 徹二	陣林 伯男 (ペースメーカー) 齋藤 聖多郎	米持 英俊	陣林 伯男	—
	外科	蔵田 伸明	柏木 孝仁	村上 光彦	萱島 理	柏木 孝仁	—
	消化器	井上 邦光	中島 仁典	梶本 展明	中島 仁典	井上 邦光	中島 仁典 (再来)
	内視鏡	梶本 展明	井上 邦光	井上 邦光	梶本 展明	梶本 展明	—
	呼吸器	三重野 斉	—	—	三重野 斉	—	—
午後	循環器	—	—	—	近藤 克洋 (心カテ検査)	—	—
	呼吸器	—	黒田 芳信	—	—	—	—
	腎臓内科	—	—	—	—	有馬 誠 第1・第3	—
	血液内科	—	—	—	—	中山 俊之 第2・第4	—

氏名	専門領域
陣林 伯男	循環器 内科一般
近藤 克洋(非常勤)	循環器科一般
篠原 徹二(非常勤)	循環器 内科一般
米持 英俊(非常勤)	循環器 内科一般
齋藤 聖多郎(非常勤)	循環器 内科一般
井上 邦光	消化器 肝臓病 内科一般
梶本 展明	消化器 肝臓病 内科一般
中島 仁典(非常勤)	消化器 肝臓病 内科一般
有馬 誠(非常勤)	腎臓内科一般
中山 俊之(非常勤)	血液内科 内科一般

氏名	専門領域
柏木 孝仁	消化器外科 下肢静脈瘤 外科一般
村上 光彦	消化器外科 外科一般
蔵田 伸明	消化器外科 外科一般
萱島 理	消化器外科 外科一般
三重野 斉	呼吸器科一般
黒田 芳信(非常勤)	呼吸器科一般

●診療時間 午前9:00～12:00  
午後1:00～4:00(腎臓内科)  
午後2:00～5:00(呼吸器・血液内科)

## ●ご案内図



- (財)日本医療機能評価機構認定(Ver.5.0)
- 第2次救急指定医療機関・災害拠点病院(大分DMAT指定病院)
- 僻地医療拠点病院・大分県HIV診療協力病院
- 第2種感染症指定医療機関(SARS初療機関)
- 大分県重症難病患者医療ネットワーク基幹協力病院
- 協力型臨床研修病院・循環器専門医研修関連施設
- 日本がん治療認定医機構認定研修施設
- 日本呼吸器内視鏡学会専門医制度関連認定施設
- 日本消化器病学会専門医研修関連施設
- 肝疾患診療協力医療機関
- マンモグラフィ画像認定施設
- NST稼働施設認定病院
- 地域医療支援病院



ぬくもり No.26 2012年1月25日発行

## 宇佐高田医師会病院

〒872-0102 大分県宇佐市大字南宇佐635  
TEL 0978-37-2300(代) FAX 0978-37-2307

ホームページ <http://www.utihp.jp/>

これまでの広報誌「ぬくもり」もホームページで閲覧できます。

## 編集後記

新年明けましておめでとうございます。  
表紙は宇佐神宮境内の菱形池から臨む日の出の写真です。この日の朝の冷え込みは厳しく、池は少し凍っていましたが、鴨たちは元気に水面を泳いでいました。早朝寒い中を震えながらいまかいまかと、その瞬間を待ちました。太陽が見えた途端、ほっとした気持ちと得した気分になりました。  
新春を迎え気持ちも新たに、これからも地域の皆様により良い情報を発信していきますので、よろしく願います。 広報委員